

## 袖ヶ浦福祉センター等改善状況調査（概要）

### 【 アドバンスながうら 】

#### 1 改善状況で評価できる点

- (1) 虐待防止体制に関する取組
  - ・グループディスカッションは、他班の支援員の話聞く良い機会となっている。具体的な支援方法について相談をすることもでき、支援に役立っている。
- (2) 支援サービスの向上
  - ・支援員のアンケートをもとに、今後どのような研修を実施するかを決めている。多くの支援員に必要な内容の研修は、年度当初には実施が予定されていなくても年度途中で追加して実施するなど、支援員の支援スキル向上に対する配慮がなされている。支援員にとって、研修は、知識や技術を学ぶ場であるだけでなく支援を振り返る場にもなっている。
- (3) 家族との信頼関係の構築
  - ・定期的なイベントの開催や利用者の状況の報告を通じて、保護者との関係づくりが図られている。個別支援計画についても、可能な限り保護者の同意を得るべく努力がなされている。
  - ・看護師は、日々、支援員からの相談を受けたり、各寮を訪れ利用者の状態を確認したりしている。利用者が体調を崩したり怪我をしたりした場合には、支援員は、すぐに看護師に連絡をして状態を確認してもらい、その後の対応について指示を仰いでいる。看護師などの専門職のスタッフと支援員が、連携して支援に当たることができている。
  - ・行動障害がある方については、アドバンスながうらの職員だけでなく、保護者や外部の機関など、様々な人と協力し対応をすることができている。
  - ・地域移行に向けては、地域の相談支援事業所をはじめとした関係機関と連携して対応がされている。
- (4) その他
  - ・支援員のヒアリングを通じて、支援員が自分の意見を述べやすい雰囲気、また、支援上の悩みを他の支援員に相談しやすい雰囲気が感じられた。

#### 2 今後も継続的に改善を必要とする点

- (1) 虐待防止体制に関する取組
  - ・振り返りチェックシートのチェック項目や実施回数について、これまでの実施結果を踏まえて、再度検証すること。
  - ・グループディスカッションにおける議題の設定や実施の頻度、また、参加者の選択については、今後も引き続き検討を行うこと。
- (2) 支援サービスの向上
  - ・支援員が受講を希望する研修を受けられるよう、配慮をすること。
- (3) 家族との信頼関係の構築
  - ・家族と話をする機会は、現状では、帰省時や個別支援計画に関する面談時などに限られている。引き続き、保護者との積極的なコミュニケーションに努めること。

#### 3 その他（あらたに改善を必要とする点等）

- ・特になし。